

極楽寺だより

長門市三隅下
野波瀬
0837(43)0625

盆法会のご案内

暑中お見舞い申し上げます。お盆には都会に出ておられる方々の帰省で、忙しくもうれしい時期です。ならば、ご家族揃ってお寺にお参りされてはいかがでしょうか。盆法会はお勤めを含めて一時間と少しで終わります。計算してみれば、一年は八七六〇時間。八七六〇のうちのたったの一時間です。しかし、こんな慌ただしい時代だからこそ、心を落ち着け仏様に手を合わせる時間を持つことは、人生にとって本当に大切なものとなるはずです。

八月十四日(土) 午後二時

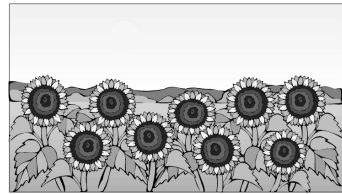
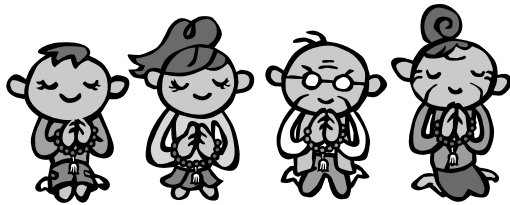
十五日(日) 午後二時

十六日(月) 朝九時(魚法)

魚供養、魚法会は、特に志を供えられた

漁業者だけの法要ではありません。仙崎の鯨法会のように

に、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。



三隅 親鸞聖人鑽仰会 法会御案内

毎年恒例の三隅親鸞聖人鑽仰会法会。

今年度第四十七回は、上ゲ 徳照寺にて勤修されます。どうぞ、お誘い合わせの上御参詣下さい。

記

一、日時 九月六日(月) 午後一時半

七日(火) 午後一時半

一、会所 上ゲ 徳照寺

一、講師 大分 正善寺住職

藤井 邦磨 先生

ご希望の方は、送り迎えをいたしますので、極楽寺までお申し出下さい。

以上

どうぞ、
ご遠慮なく!



報告のページ

7月4日の総代・世話人会議にて、下記の通り収支決算が承認されました。

2009(平成21)年度極楽寺門徒会収支決算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

	費目	金額(円)	摘要		
収 入	門徒会会費	765,000	延255戸×3,000円 (野波瀬119/在方延113/町外延23)		
	本山教化助成金	12,150	本山門徒講、永代経志進納によるもの		
	貯金利息	926			
	前年度繰越金	2,895,964			
	合計	3,674,040			
支 出	負担金	391,540	本山賦課金	93,600	
			本山門徒講金	152,000	
			山口教区費	110,340	
			大津東組 組費	35,600	
	研修会費	9,000	教区仏壮総会(7/17)大会(3/14)		
	火災保険料	139,700	本堂	6,700万円	106,460
			庫裏	4,000万円	33,240
	会議費	60,000	11/29 総代・世話人会議		
	慶弔費	10,000	綿野政徳前世話人逝去		
	合計	610,240			
差引残金		3,063,800	漁協普通預金		

2009(平成21)年度極楽寺 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要
収 入	継職法要残金	2,192,380	極楽寺だより21年12月号収支報告書残金
	継職法要進納金(決算後納入)	170,000	
	利息	358	
合計		2,362,738	漁協定期預金2,292,380円 普通預金70,358円(定期化後納入分と利息)

2010(平成22)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺の方へ納入して下さい。宜しくお願いします。



藤田平二新総代長



宮崎茂之以前総代長

宮崎総代長(野波瀬)が辞任され、新総代長に藤田平二さん(仙崎)が就任されました。

二十七年間にわたり、総代並びに総代長を務めて下さいました宮崎茂之さんが、体調面の不安と、昨年の継職法要を無事勤め一区切りついたということを理由に、辞任を申し出られ、後任に副総代長の藤田平二さんが総代長に就任されました。宮崎さんは、庫裡改築・継職法要という大事業を務め挙げられ、極楽寺のために大変ご尽力下さいました。本当に有難うございました。

また、副総代長には木村慎治総代が、新総代に宮崎忠彦さん(野波瀬)が世話人兼務で就任され、下記の表のような体制となります。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

新総代には、
宮崎忠彦さん(野波瀬)

元総代の岡本長一さんが、七月七日にご往生されました。岡本さんは、十二年にわたり極楽寺総代を務められ、昨年の継職法要を最後に、体調不良のため辞任されました。九十一歳でした。長い間、本当に有難うございました。



総代長	藤田平二さん(仙崎)		
副総代長	木村慎治さん(野波瀬)	会計	松野行利さん(野波瀬)
監査	野村昭一さん(上東方)	総代	小林明さん(豊原)
総代	山中重良さん(豊原)	総代	宮崎忠彦さん(野波瀬)

野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	名和田栄さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	竹林啓助さん
	宮崎忠彦さん	久原	藤村勇次さん
	黒瀬彰己さん	向山	木村重彦さん
	高野芳雄さん	上東方	西村一夫さん
	角村信忠さん	下東方・小島	小林昭さん
野波瀬東側	河村康昭さん	豊原	岡村栄一さん
	鼻野直行さん		重岡幸作さん
	石川義文さん		宮本智さん
	田村末夫さん		石村政一さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	上田耕作さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	磯昭正さん

お盆とは、自分の足元を見つめ直す大切なご縁です。故郷に帰り、自分がどのように生まれ、育てられてきたかという自分の根っこを見つめ直す。いのちの連なりを深く味わう。そして、今この私が、どのような世界に支えられて生きているのかを問い返す。そんな大切なご縁が、今ではすっかり軽いものとして扱われているようです。

明治安田生命が毎年行っている名前ランキング調査によると、2009年度生まれの男の子の第1位は「大翔」くん（読み方は、ヒロト・ハルト・ヤマト・・等々）だそうです。そして、第2位は「翔」（シヨウ・カケル・ソラ）くん。うちの子どもたちが通っている小学校にも、「翔太」くんや「翔也」くんや「翔大」くんと、「翔」という字のついた名前がたくさんいます。（ちなみに、「大翔」くんは、なんと2005年から5年間で1位が4回！ダントツの人気です。）人気の秘密はというと、「大空高く翔るような活躍」と「明るくのびのびとした成長」を期待する親の願いが込められているのではないかとされています。羽を広げて大空を翔る鳥は、まさしく自由の象徴です。ところがその鳥にしても、いつまでも飛び続ける



足元を見つめ直す 住職



わけにはいきません。止まり木がなければ、その木を支える大地がなければ、帰っていく巣がなければ、翔ぶことはできないのです。

『徹子の部屋』でお馴染みの黒柳徹子さんは、ユニセフ大使として難民キャンプなどで、親を亡くした子どもたちをぎゅっと抱きしめるという活動をされています。子どもにとって、抱きしめられるという経験は、その成長に大きな影響を与えるそうです。またある方は、しっかり抱きしめられて育った子どもの方が、社会に飛び出す力を身につけると言われます。どんなことがあっても私を受け止めてくれる場所、無条件に私を受け入れてくれる存在があるという安心感は、思い切った前に進める力を生み出すからだそうです。逆に早くから自立心を養うためといって、ふれあいを拒否するような行動は、子どもに「どうしたら、僕は抱きしめてもらえるのだろう」「どんな条件があれば、僕は認められるのか」という不安感を与えてしまい、結果的には子どもたちの自立心を奪うのだそうです。「大空高く翔るような活躍」には、まず足元がしっかりしなくてはならないという事なのでしょう。



私は、何も全国の「大翔」くんや「翔」くんたちの名前がいけないというのではありません。足元がしっかりしているからこそ、大きく翔ぶことができるというのを、忘れないで欲しいのです。

親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹て」と言われています。私たちをいつも願い支えて下さる仏様の大地に、しっかりと根を張って生きる。その大地を通して、私を支え、受け止めて下さる人々と、そしていのちの連なりに目覚めていく。”明るくのびのびとした成長”を育むとは、このような営みから始まるのだと教えられます。

お盆とは、自分の足元を見つめ直す大切なご縁です。そこには、私が立つよりも先に、私を支えていてくれた、大きな大きな大地がありました。



翔

松田翔太



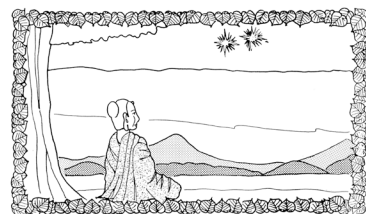
桜井 翔

翔

哀川 翔

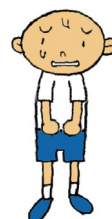


極楽寺揭示伝道 けいじてんどう



8月の言葉

悲しくつらい気持ちです
人が人を殺して
それが 正しいことなんて
いったい誰が思うんやろう



極楽寺揭示伝道

原田大助

原田大助さんには、知的障害があります。それは現代社会においては、大きなハンディだと見られています。ところが原田さんの言葉には、私のような者が振り回す、小賢しい理屈を根底からひっくり返すような重みがあり、真実があります。

世の中、いろんな理屈がある。その理屈が時に戦争や差別を起こし、それを正当化しようとする。しかし、理屈をつけなければいけません、何か本当に願うべきことが、求めていることが見失われていくのです。

親鸞聖人は、「よしあしの文字をもしらぬひとはみな まことのころなりけるを 善悪の字しりがほは おほそらごとのかたちなり」と言われています。善悪を知り抜いたかのように理屈を振り回すあり方は、人間をますます傲慢にさせ、いのちの事実を見失わせる。知識はなくとも、そのいのちの事実で生きていく人こそ、まことの心の人なのだ。理屈を振り回し、理屈に振り回された「おほそらごと」の生き方をしているにも関わらず、そのことに気付くこともない私の姿を、原田さんの言葉は鋭く教えて下さるのです。

8月のお寺の子ども会は、
夜の子ども会です！
8月25日(水)

夜 7時30分から
9時前には終わります



どうぞ、ご家族でお越し下さい。

お寺の子ども会
花火とかき氷の夕べ

毎年、恒例となってまいりました。大津東組主催、キッズサンガ。今年は、深川 江良 光浄寺で開催いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています！！

1. 日時 8月18日(水)午後2時半より 19日(木)午前11時まで
2. 場所 長門 江良 光浄寺 TEL 22-2933
3. 対象 小学校1年生から中学1年生まで
※ 但し、小学1・2年生の宿泊はありません。
夜のプログラム終了後、ご自宅までお送りします。
二日目参加ご希望の方は、保護者の方が朝お寺までお送りください。
5. 会費 1,000円(当日集めます)
6. 申し込み&お問い合わせ お寺まで。
7. 送迎 お寺で、送迎いたします。詳細は参加者に連絡します。
8. 持ってくるもの ①会費 ②おじゆず ③夏休み帳(その他、夏休みの宿題) ④ラジオ体操カード ⑤バスタオル(タオルケット)2枚 ⑥ねまき ⑦洗面用具 ⑧筆記用具
※お経本は、お寺にあります。



大津東組キッズサンガ
お寺にとまろう！